

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	IT化社会に再就職するためのITスキルと初級システムアド資格講座		
法人名	学校法人三橋学園		
学校名	船橋情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 鳥居 勝一	担当者 連絡先	稲垣 実 TEL 047-425-1051
<p>1. 事業の概要</p> <p>■事業の主題とねらい 結婚や子育てで仕事を中断したけれど、もう一度働きたい女性の再就職を応援するために、IT化に対応した知識とスキルの修得を目指し、再就職のための支援を行う。</p> <p>■受講人数 18名(20代=1名、30代=7名、40代=9名、50代=1名)</p> <p>■実施内容 IT化に対応した知識として初級システムアドミニストレータの午前試験領域を午前中に約3時間の学習をし、IT化に対応したスキルとしてワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの機能の理解と活用をテーマに午後3時間程度を行う。実施時期は11月より翌年1月にかけて行い、原則として毎週月火・木金の4回、9:50から16:00の講座を全33回実施した。</p> <p>■子育て中等の女性に対する配慮 開講直前に、託児施設等の利用の有無を確認したが、受講者全員が「不要」とのことで、期間中に託児室の手配はしなかった。しかし、講座期間中に幼稚園・小学校等が早帰りとなった場合に、サブ講師の1人が教室の後ろで対応した。これは、各講座を3名体制で実施したために出来たものと思われる。</p> <p>■フォローアップ 1月末に修了式を実施した際に、知識として修得した初級システムアドミニストレータの午前試験領域だけでなく、午後試験領域も学習したい希望が多く出たため、3月に追加講座として実施した。なお、講座終了後は、受講者は定期的に集まって情報交換を行う。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>■出席状況 18名でスタートしたが、15名の方が修了式を迎えることができた。</p> <p>■再就職状況 本講座を契機に、最終日に3名(20.0%)の方が社会人として再スタートされた。どなたもITに関連する職種である。 なお、再就職を希望する方は、再就職の活動を継続されている。</p> <p>■知識修得状況 本講座期間中、9名(60.0%)の方が初級システムアドミニストレータ午前修了(試験免除)の認定を受けられた。</p> <p>■スキル修得状況 本講座期間中、ワープロについては9名(60.0%)の方が、表計算ソフトについては10名(66.7%)の方がITベンダーが行う検定試験に合格され、ITのスキルに自信を持たれた。</p>			

②事業により得られた成果

■女性再チャレンジ用・カリキュラム

想定はしていたが、受講者のITスキルに開きがあり、すべての受講者にご満足いただくために、レベルに応じたカリキュラムを準備し、同一教室で複数の教育内容を展開することができるようになった。

■受講者の学習意欲の高さ

3ヶ月間の無料講座では、途中リタイアする方も多いのではと思われたが、スキルレベルで諦めた方は1名だけであり、受講することによってレベルアップを図ろうとする学習意欲の高さがあった。これに応える結果として、同一教室で複数の教育内容を展開することができるようになった。

③今後の活用

■女性再チャレンジとして、同一教室で複数の教育内容を展開することができるようになった教育のノウハウを、今後も活用する。ただし、3ヶ月間という期間について、今回受講された方は「適切な期間であった」と判断されたが、今回受講できなかった方からは「3ヶ月間は長い」といわれる方もいらっしゃる、今回のノウハウを分割することも検討しなくてはならないと思われる。

④次年度以降における課題・展開

■補助金の確保

受講者より「主婦は、自分のための投資が一番し難い」という言葉より、自分のために受講料を支払うことに躊躇うため、受講に関する補助金制度が必要である。補助金額が少なくなる場合、講座の開催期間や時間を調整することにより、対応できるが、補助金制度がない場合、講座の展開が難しい。(せめて軌道に乗るまでは補助金制度が必要)

■短縮講座の開発の検討

今回の3ヵ月講座はやや長期という方もいらっしゃるの、スキル修得の一部を目指す短期コースの実施を検討する必要がある。

3. 事業の実施に関する項目

① テーマと期間

■テーマ

この10年間はIT系の進歩が大きい、IT系に知識とスキルを獲得してIT化社会の再就職できるよう、「IT化社会に再就職するためのITスキルと初級シスアド講座」をテーマとした。

■実施時間

講座は、午前3時間、午後3時間とし、原則として毎週月・火・木・金の4日間とした。そのため、午前を知識講座、午後をスキル講座として実施した。これは、土・日を除いた週1回は復習の日が必要であること、および毎週水曜日は近隣の幼稚園が早帰りしていることによる。

■実施期間

IT系のスキル講座はワープロソフトと表計算ソフトはベンダーの検定試験を受検するため、それぞれ16回ずつ、プレゼンテーションソフトは実習のみとし6回と設定したため、合計40回、約3ヵ月間を必要とした。また、IT系知識である初級シスアドは、初学者の負担を考慮し、知識として獲得する範囲を午前試験領域と限定した。そのため、一部の日程はスキル講座の日となるが、全33日間の講座を実施した。

② 募集活動

■後援名義の獲得

募集活動に先立ち、地元の船橋市および船橋市教育委員会名義を頂いた。後援名義を頂いたことにより、船橋市報への掲載や女性センターなど公的施設のポスター掲示等の交渉が比較的楽になった。

■船橋市報の掲載

募集開始日(10/1)と同じ日付の船橋市報に、開催に関する記事と募集記事を掲載頂いた。市報を見ての問い合わせが10/1～10/4にかけて毎日約10件(約40件)あった。新聞掲載と比べ、市報が主婦の手元には長期にあることを感じさせられた。

■卒業生へのDM

卒業生へ発送する学校通信とともに、卒業5年から15年の女子約1,500名に、女性再チャレンジのチラシをDMした。しかし、卒業生からは問い合わせがなかった。情報系専門学校卒業の25歳から35歳の女子は再就職ができている、または、再就職する必要性がない、と思われる。

③ 応募と抽選方法

■応募者数

船橋市報の掲載やポスター掲示、卒業生へのDMなどを行った結果、38名からの応募を受け付けた。募集要項では、再就職という関門があるために50歳未満とした。なお、応募については、往復はがきのみの受付であったので、整理しやすく、混乱もなかった。

■抽選方法

応募にあたり、往復はがきに「今回の講座終了後の再就職の希望、過去の就業経験、パソコンの操作能力など、講座応募に関する動機等」を記入することを条件としたため、先着ではなく、応募動機等に記載内容を抽選基準とした。結論的には38名中18名に、応募動機の記載がない、または再就職の意思がない方であったので、応募動機に記載のある20名を採用した。なお、20名の中には50歳代も1名含まれた。

④ 開講日

■受講者

開講前日に2名の方からキャンセルの申し出があり、前日であったために受講者の繰上げをせずに、18名でスタートした。

18名の年齢構成(20歳～29歳=1名、30歳～39歳=7名、40歳～49歳=9名、50歳～=1名)

■開講式

開講にあたり開講式を実施した。開講式では本講座の趣旨や目的、講座のスケジュールや進め方などを説明し、受講者全員に自己紹介をお願いした。自己紹介では、本講座に対する意気込みや不安、本講座後の予定などがあれば発表頂いた。この自己紹介を経て、教室内が和みはじめた。

⑤ 継続状況

■リタイヤ

講座開始後、1ヶ月以内に3名(16.6%)の方がリタイヤされた。理由は以下の通り。

- ・学習内容が自分に合わない 1名(5.6%)
- ・ご懐妊 1名(5.6%)
- ・パート先が決まった 1名(5.6%)

■出席率

修了式まで継続した15名のうち、欠席2日以内の高出席率者は10名(66.7%)であった。

- ・皆勤(出席率100%) 4名(26.7%)
- ・精勤(出席率97.0%) 4名(26.7%)
- ・欠席2日(出席率93.9%) 2名(13.4%)

⑥ 資格取得状況

■知識修得状況

本講座期間中、10名の方が午前試験修了認定試験を受験され9名(合格率90.0%、取得率60.0%)の方が初級システムアドミニストレータ午前修了(試験免除)の認定を受けられた。

■スキル修得状況

本講座期間中、ワープロソフト・表計算ソフトについては、ITベンダーが行う検定試験を受験し、合格された。

- ・ワープロソフト 受験者10名 合格者9名 (受験率66.7% 合格率 90.0%)
- ・表計算ソフト 受験者10名 合格者10名 (受験率66.7% 合格率 100%)

⑦ 再就職状況

■再就職状況

本講座を契機に、最終日に3名(20.0%)の方が社会人として再スタートされた。

- ・一般事務(PC操作を含む) 2名(13.3%)
- ・医療事務(PC操作を含む) 1名(6.7%)

なお、ご本人の体調不良またはご家族の看病のためさお就職を希望しない3名(20.0%)をのぞき、再就職の活動を継続されている。

⑧ 実施回数

■全実施回数(33回)

・少ない 9名(69.2%) ・ちょうど良い 4名(30.8%) ・多い 0名(0.0%)

3か月に渡り、全33回の講座で長いと思われたが、受講者の約7割からは少ないと判断された。これは、講座のレベルが受講者と合致したことが一番の要素であり、また、初級シスアドの午後対策を希望された現われでもある。

■週間実施回数(4回/週)

・少ない 0名(0.0%) ・ちょうど良い 10名(77.0%) ・多い 3名(23.0%)

4回/週は、受講者にちょうど良い回数であったと思われる。しかし、約2割の方から多いとの声もあったが、この方はパートを続けながら受講された方々である。

⑨ 受講者の満足度

■資格取得(知識)講座

レベルは ・易しい 0名(0.0%) ・ちょうど良い 2名(15.4%) ・難しい 11名(84.6%)

スピードは ・遅い 0名(0.0%) ・ちょうど良い 10名(77.0%) ・早い 3名(23.0%)

資格取得講座は、受講者にとってレベルは高かったものの、授業のスピードはちょうど良く、満足度が高かったと思われる。

■スキル講座

レベルは ・易しい 1名(7.7%) ・ちょうど良い 11名(84.6%) ・難しい 1名(7.7%)

スピードは ・遅い 1名(7.7%) ・ちょうど良い 10名(77.0%) ・早い 2名(15.4%)

スキル講座は、経験のある1名の受講者にとってはレベルが低かったものの、授業のスピードはちょうど良く、満足度が高かったと思われる。